

呉工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	地理総合	
科目基礎情報							
科目番号		0058		科目区分	一般 / 選択必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		機械工学科		対象学年	3		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		『高等学校 新地理総合』 (帝国書院)、『詳解現代地図 最新版』 (二宮書店)					
担当教員		木原 滋哉,森 良祐					
到達目標							
・ 地図やGIS等地理に関する基本的な技能を習得する。 ・ 自然環境が成り立つ仕組みを理解し、説明できるようになる。 ・ 経済活動を通じたグローバルな地域の結びつきを理解し、説明できるようになる。 ・ 日本および諸外国の環境と人々の生活について理解し、説明できるようになる。 ・ 身の回りで発生しうる災害に関する地理的な情報を習得し、適切な行動を取れるようになる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		地理の適切な表現・読図法・利用法を理解し、説明できるようになる。		地理の適切な表現・読図法・利用法を理解し、説明できるようになる。		地理の適切な表現・読図法・利用法を理解し、説明できるようになる。	
評価項目2		自然環境が成り立つ仕組みを理解し、説明できるようになる。		自然環境が成り立つ仕組みを理解し、説明できるようになる。		自然環境が成り立つ仕組みを理解し、説明できるようになる。	
評価項目3		経済活動を通じたグローバルな地域の結びつきを理解し、説明できるようになる。		経済活動を通じたグローバルな地域の結びつきを理解し、説明できるようになる。		経済活動を通じたグローバルな地域の結びつきを理解し、説明できるようになる。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		①地理の基本的事項を理解する。②自然環境の成り立ちについて理解する。③経済・社会的側面から「グローバル・ローカル」に見られる異なるスケール間の相互作用を理解する。④地理的な問題解決の手法を理解する。					
授業の進め方・方法		基本的に講義形式でおこないます。教科書のみならず、自作プリントやスライドを用いて、視覚的に理解させることに努めます。板書も併用します。 新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性があります。					
注意点		適宜小レポート課題を出します。地理を学習する上で、視覚的に理解することが重要です。教科書のみならず、地図帳・資料集を活用してください。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス・地図表現・地図の利用・地球上の位置と時差		地図の表現法や法則、使用の理解		
		2週	多様な世界		第二次大戦後から多様化し、グローバル化していく現代の世界の理解		
		3週	大地と気候と生活文化		大地と気候の仕組みとそれに根ざした様々な人々の生活への理解		
		4週	文化と生活1		世界の文化と生活の様式の理解		
		5週	文化と生活2		イスラーム・ヒンドゥー圏の文化と生活の理解		
		6週	歴史的背景と人々の生活		ラテンアメリカ、サハラ以南アフリカ、ロシアの文化と生活の理解		
		7週	中間試験				
		8週	世界の産業と人々の生活 1		現代の産業の理解		
	4thQ	9週	世界の産業と人々の生活 2		アメリカ・東アジア・ヨーロッパの発展の理解		
		10週	世界の産業と人々の生活 3		ロシア・北アメリカの文化と生活の理解		
		11週	地球的課題1		地球環境問題、エネルギー問題とそれらへの取り組み		
		12週	地球的課題2		食糧問題・都市問題とそれらへの取り組み		
		13週	日本の自然環境と災害・防災		日本列島の自然的特性とそこで発生する災害および防災の理解		
		14週	地理的課題と地域調査		生活圏の調査から地域の課題を地理的に追求し、解決する手法の理解		
		15週	期末試験				
		16週	答案返却・解答解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。		3	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100

專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0